

# すごいね足立の子どもたち

## SPORTS

さまざまな分野での足立区の子どもの活躍はすばらしい。今回はスポーツ分野で活躍する子どもたちを紹介していく。

千寿本町小学校5年生の國方勇樹さんは、1月に行われた第15回全日本フィギュアスケートノービス選手権大会ノービスB男子で優勝した。日本一の小学生だ。「普段はおとなしく、物静かなタイプですが、スケートリンクでは別人。アスリートの眼になっている」と学校の先生方は話す。

フィギュアスケートを始めたのは小学2年生の終わり頃。両親や知り合いがフィギュアスケートをやっているわけではなく、テレビで見て「面白そう」と思ったのが、始めたきっかけだそう。お母さんは「本当にやりたいの？」と心配したが、自分でもつきたい思いは揺るがなかった。わずか3年での日本一は「才能」という言葉だけでは片付けられない「努力」の成果だ。火曜日以外の放課後は3時間、土日曜日にも4時間〜5時間練習し、時には登校前の早朝にも練習をするという。そういう努力の積み重ねで、揺るぎないやる気が日本一につながった。

興本扇学園8年生の樋口裕大さんは、柔道をやっていて父親の影響もあり小学生から柔道を始め、今では全日本の強化選手に選ばれている。

「小学生で耳のつぶれた子は初めて見た」と柔道部顧問の掛川真幸先生が驚くほど柔道漬けの日々を送っている樋口さんは、152cmと小柄ながら全国中学生柔道大会50kg級で準優勝した。関東大会では減量に苦しみ成績は振るわなかったが、全国大会では、掛川先生の教えでもある「本勝ち」を実践した。来年は階級を上げ、全国大会で優勝を狙う。

ここで紹介した子どもたちはごく一部。これからも足立の子どもたちの東京都関東・全国での活躍に注目していく。

第38回全日本中学校陸上競技選手権大会  
女子100m6位  
第42回ジュニアオリンピック陸上競技大会  
A女子100m8位  
第十二中学校3年 初見 笑里さん

「他の選手とはバネが違う」と語るのは、顧問の澤石友紀先生。3年生で初めて全国大会に出場し、決勝で6位の好成績。特訓といわれるような特別な練習方法を取り入れているわけではないが、休むことなく練習を続けてきた初見さんの努力が実った。3年生は引退の時期だが、初見さんは2月に行われる日本ジュニア室内陸上競技大阪大会にも出場する予定。

第42回全国中学校柔道大会  
男子50kg級準優勝  
興本扇学園8年 樋口 裕大さん

樋口さんのすごいところは強い気持ち。「全国大会では力の差よりも、気持ちで勝つほうが勝つ」と掛川先生が言うように、樋口さんの気持ちが全国大会準優勝につながった。



第15回全日本フィギュアスケートノービス選手権大会  
ノービスB男子優勝  
千寿本町小学校5年 國方 勇樹さん

「トレーニングを一緒にやっている仲のいい友だちがライバル。ライバルがいることで自分が頑張れる」。現在はさらに上をめざし、3回転ジャンプに挑戦中。(写真:保護者提供)



第27回東日本女子駅伝出場  
第42回ジュニアオリンピック陸上競技大会  
B女子1500m3位  
第十一中学校2年 佐藤 みな実さん

「スピードと力強さが違う」。1年半前、陸上部顧問峰村勝先生が、中学校に入学してきた佐藤さんを見て思ったそう。毎月のように大会に出場し、多くの経験を積み重ねてきた佐藤さんは、中学生24人が参加した第27回東日本女子駅伝の代表選考会で1位になり、2人の中学生枠のうち1枠を勝ち取った。11月13日に行われた本大会では東京都の中学生代表として晩秋の福島路を駆け抜けた。

さらに、来年1月に京都で行われる全国都道府県対抗女子駅伝の東京都代表、3月に行われる中学生東京駅伝にも足立区代表として走る。

今はまだ2年生の佐藤さん。来年の活躍にも注目していく。



3年生が引退し、新チームになって掲げた目標「都大会ベスト4」を達成した第四中学校野球部。顧問の安島章雄先生は「目標を達成できたことに子どもたちは満足しているが、自分から見れば他校より優れているところはない。まだまだこれからのチーム」とさらに上位をめざす姿勢がうかがえた。

第64回東京都中学校野球  
秋季大会3位  
第四中学校野球部

